

## 事務事業評価のポイント及び流れ

### 事務事業評価について

事務事業それぞれの目的を明確にし、事務事業の効果、必要性及び手法の妥当性・効率性などの分析・評価を行います。

一次評価、総合政策審議会の評価結果を踏まえて、今後行う市長、副市長、教育長による二次評価で最終的な判定を決定し、来年度以降の業務改善や予算編成等に反映するものです。

### 今回の審議の目標・目的

○市役所がまとめた事務事業評価の内容の確認

○市民目線での事務事業に対する評価の再判定

市役所が進めてきた事務事業について、主に以下の点に注目いただき審査いただきます。

- ① 目的達成へ向けて適切な事務事業を設定できているか
  - ・ 目的を達成するために手段は適正か。
- ② 事務事業を行う上で、適切なコストをかけているのか。
  - ・ 突然、コストは上がったか、下がったりしていないか。
  - ・ 受益者当たりの金額は高いのか、安いのか。
  - ・ コスト等の変化の理由が分かるか、適切なのか。
- ③ 活動と効果は着実にでているか
  - ・ 事務事業そのものを行うことで活動の効果はでているか。
  - ・ 成果の変化の理由はあるか。
  - ・ 活動を行うことでの成果はあがっているか。
- ④ 今後想定される社会変化・リスクについて対応しているのか。そして、一次評価の判定は妥当か。
  - ・ 今後の見通しは適切か。
  - ・ (全てを踏まえ) 判定については妥当か。

【裏面へ続く】

以上のことを踏まえて当日は、各事業の説明を行い、質疑を経て４段階(拡充、継続、縮小、廃止)で評価（判定）していただきます。※判定札を用意してあります。

当日まで、内容等でわからない点がございましたら、電話またはメールにより下記担当にご連絡ください。

なお、当日の審議会にも各担当部局の職員がおりますので、その場でご質問いただくこともできます。